



青き楓

島高だより
平成 20 年度 8 月号
(通巻第 29 号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長室から

「ないないづくし」

校長 辰田 幸敏



先日、ある世論調査を読んでいたら、「最近はしつけなど家庭の教育力が落ちている」と考えている人が75%に達しているとあった。どんなことにそれが表れているかというと、①あいさつ、整理整頓など基本的な生活習慣、②根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ、③お金やものを大切にできる心、④責任感の順になっている。

こうした家庭の教育機能の低下の理由については、「過保護や甘やかしすぎな親の増加」を挙げた人が65%でもっとも多い。次が「しつけや教育に無関心な親の増加」となっており、各方面から指摘されている理由と同傾向である。

ちょっと耳が痛いのが、長年、家庭教育の大切さを説き、実践してこられた東京の幼稚園長・高橋さん作の「ないないづくし」母親・父親編を紹介する。

- 「(子どもの)顔見りゃ 勉強 勉強 能がない」
- 「子どものよいとこ 探せない」
- 「叱るばかりで ほめたことない」
- 「何でもよしよし 厳しさない」

最後に、「それでも 親は かけがえない」。島高生の保護者の方はいかがでしょうか？

9月の主な行事予定

- 1日(月) 始業式
- 2日(火) 代休(9/6)
- 3日(水) ~30日(火) 山中凱和氏(第11回生)・本校美術部合同美術展(於・秋岳館)
- 4日(木) 体育祭予行
- 6日(土) 体育祭準備
- 7日(日) 第60回体育祭
- 8日(月) 代休(9/7)
- 11日(木) 代休(9/13)
- 12日(金) ~13日(土) 青楓祭
- 16日(火) 校内実力(1・2年)
- 17日(水) 進路講演会(2年)
- 20日(土) 土曜講座(1・2年)
- 22日(月) 中間考査時間割発表(1・2年)
学年末考査時間割発表(3年)
- 26日(金) 前期補習終了(全学年)
- 30日(火) ~10月3日(金) 学年末考査(3年)
- ※10月1日(水) ~3日(金) 中間考査(1・2年)



ボランティア活動紹介

●レスリング部

全国インターハイ前合宿(7/23~28)の早朝、校内玄関前清掃を行った。減量とともに「心をきれいに」して試合に臨みました。

●陸上部

お盆を前(8/12)に、日頃の練習会場である市営陸上競技場周辺や観音公園の階段、「動員生徒の碑」周辺の除草等を約1時間半ほど行った。

【生徒感想】

こんなに近くに私達の先輩であり戦争で亡くなった方々の「殉難の碑」があるとは知らなかった。みんなで清掃ができ、また、周りがきれいになり、すっきりした気持ちになった。



地区PTAを終えて

教務部 山口 浩義

今年度の地区PTAも、7月22日(火)の白山地区と有明地区から始まり、8月17日(日)の雲仙地区を最後に23全地区無事に終了することができました。

昨年度から、多くの保護者の意見や要望を直接聞きたいという大野PTA会長の提案により、23全地区で開催しています。今年度も同様に実施できましたのも、各地区の委員長の方々のご理解やご苦労、そして、保護者の方々のご協力があったからだと思います。大変ありがとうございました。

夏休みに入り、保護者の皆様におかれましては、三者面談など多くの行事が重なり、大変忙しい中での開催でありましたが、昨年度とほとんど変わらない参加率(44%)でした。

その中で、現在の島原高校や生徒に対する多くの質問・要望事項が出てきました。内容については、この後、10月に行われる第2回評議員会・専門委員会でご検討することになりますが、ここでは、回答を学校に持ち帰って保留した分をいくつか載せます。

【質問1】春の法改正で、自転車は歩道を走れず、車道を走るようになったが、その指導はどうしているか。

【回答】島原警察署によると、夏休み期間中の自転車事故が多いとのこともあり、道路交通法改正のポイントおよび自転車乗車マナーに関して、再度全体で指導する予定です。

【質問2】学級連絡網は全学級で配布していないのか。

【回答】緊急連絡網として全クラスで配布するようにします。

最後に、島鉄バスへの要望が多く出ましたが、今後は保護者・地域が一体となって、改善要望を島鉄に行っていくことになりました。ぜひ、生徒の負担が少しでも減らせるように、ご協力をお願いします。



充実した日々を送った雲仙合宿

第3学年主任 酒井 俊治

雲仙学習合宿を8月16日(土)から22日(金)までの6泊7日で行った。1日11時間の自学と30分間のListenigを行う。なお、朝・昼・夜にそれぞれ2時間ずつ質問できるコマを設けている。雲仙学習合宿の主な目的は、自学自習の態度や習慣を身に付け、集中力・持久力を養うことにある。長時間の自学は、日頃疎かになっている課題に直面することで、不足する知識を補い、理解を深め、実践力を向上させる絶好の機会である。参加した生徒は各々自分自身と必死に戦い、自己の能力向上に懸命に取り組んだ。

さて、雲仙学習合宿でも集団生活の重要性にあらためて気付かされた。各自の生活態度が、全体の学習環境に大きく影響する。容儀、挨拶、整理整頓などの基本的な生活習慣を磨くことが、今後の学校生活でも重要であると痛感した。

雲仙学習合宿で浮き彫りになった課題の解決に向け、一人ひとりの生徒が、なお一層懸命になることを期待している。



熱心に質問する生徒



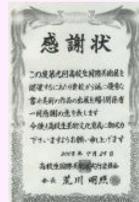
集中して取り組む自学

部活動の主な成績

- 〇剣道部 平成20年度 全国高等学校総合体育大会
 - 男子団体 ベスト16 女子団体 ベスト8
 - 女子個人 平石ゆいこ ベスト16
 - 玉竜旗高校剣道大会
 - 男子団体 ベスト8 **女子団体 第3位**
- 〇レスリング部 平成20年度 全国高等学校総合体育大会
 - 団体 ベスト16
 - 個人 96kg級 馬場貴大 ベスト8
- 〇放送部 NHK杯全国高校放送コンテスト
 - アナウンス部門 佐藤綾子 入選
- 〇囲碁 平成20年度 全国高等学校総合文化祭
 - 長崎県代表(島原:稲田拓真・宮崎稔樹・長崎北陽台1名) 第6位
- 〇合唱部 第46回県高校音楽コンクール
 - 声楽部門 本多千秋 金賞(10/18・19 瀧廉太郎記念全日本高校声楽コンクール出場)
 - ピアノ部門 前田ゆりの 1位(11/6・7 全九州高校音楽コンクール出場)



第9回高校生国際美術展



この美術展は全国の高校生を対象としたもので、美術部では毎年2・3年生が出品しています。応募総数約1000点のうち2割しか入選できない厳しいものです。今年はおしくも入選者は出せませんでした。部として感謝状をいただきました。今後も入選、入賞をめざして努力したいと思います。

平和学習の取り組み

教務部 久保 惣平

8月9日(土)に「原爆投下の真相とその現状を考える」という内容で、各クラスで学習に取り組みました。今まで身につけてきた知識を最大限活用し、「なぜ原爆が落とされたのか?」「なぜ核兵器を持つのか?」と言う問題について、積極的に考えていました。

その後実施した島高ピースフォーラムでは、校長講話と「島高生徒会による平和宣言」の朗読、黙祷を行いました。生徒会みずから永井隆博士を題材とした平和宣言を作成し、心に残る宣言でした。

【生徒の感想】

「自分は直接戦争を経験したわけではないが、将来自分が戦争について子どもたちに語っていききたい」(1年 男子)

「永井隆さんという素晴らしい人が長崎にいたことがわかって良かったし、誇らしいと思った。」(2年 女子)



平和宣言の朗読

<図書の出貸状況について(1学期)>

図書室の開館日数は81日 貸出総数は、2,173冊 来館者は、3,349人 貸し出し回数の上位3クラス

1位 3年6組 303冊 2位 2年1組 203冊 3位 3年7組 197冊

読書は視野を広げ、脳を活性化します。希望する図書がありましたら気軽に図書室で尋ねてください。図書室には、約2万冊の本があります。生徒の皆さんに読まれる日々を待っています。図書室を多利用しましょう。



理数科研修旅行

「理数科研修旅行」が今年も実施されました。これは、大学の先端技術に触れ、科学的なものの見方や基本原理を知るために毎年行われている行事です。

「1年生 長崎総合科学大学」

第1学年 吉永 真二

1年生は長崎総合科学大学のご協力の下、工学部、情報学部、人間環境学部で研修を行いました。初めての研修で大学での研究や施設を見学しました。



【生徒感想】

- ・高校ではできないことができ楽しかった。
- ・レゴブロックロボットをパソコンで動かすことができたときは感動した。
- ・島原の民家再生の話聞いて島原はすばらしい町だなと実感した。
- ・LEDの作成ではハンダを使って作業したが、意外と苦戦したけど講師の先生方がわかりやすく教えてくださったので楽しくできた。
- ・溶接実習では火花が出るとは思わず、怖かったが、練習したらだんだん上手に溶接ができるようになってうれしかった。

「2年生 崇城大学」

第2学年 吉岡 功二

2年生は、今年も崇城大学のご協力をいただき、情報学部、工学部、薬学部で研修をさせていただきました。

【生徒感想】

- ・目の前で形状変化のすごさを見ることができてとても楽しかった。やはり、知らないものや見たことがないものは、本当に感動します。自分は勉強することが、まだまだ、たくさんあるんだなあと改めて実感しました。
- ・ルミノール反応の原理はよく知らなかった。講義が化学的な内容であることに驚いた。こういった化学の反応を上手く利用して、とても良いものにする工学の考え方は、とても興味をそそられるものでした。
- ・最もこの研修で印象に残ったのは食品添加物の検出実験だ。2度も失敗して、3度目に何とかできた。そのときアドバイスをたくさんもらった。実験の難しさ、正確さの大切さ、理解の重要性を痛感した。
- ・今日の講義はすごく広い世界への扉を開いたようだった。



「絆」をテーマに愛知でPTA全国大会

PTA会長 大野 友道

「絆～愛と知で結び合う心と心～」をテーマに、第58回全国高等学校PTA連合会大会が、8月21日から23日まで、景気低迷の日本のなかにあって元気といわれる愛知県で開催されました。島原地区高P連のうち島原中央、島原養護を除く8校が合同で参加し、本校からは辰田校長と私が参加しました。

22日午前、名古屋市の日本ガイシスポーツプラザにおいて1万人が参加して全体会が開催されました。経済学博士 水谷研治氏による「日本経済のゆくえ」と題した記念講演では、日本経済の厳しい状況と方向性が示されました。

同日午後から参加した特別第1分科会のテーマは、「情報化社会とPTA」。総務省・警察庁・学校・保護者代表によるパネルディスカッションがあり、情報化社会の中で難問ではあるが避けて通れない携帯電話所持の問題について活発な議論がされました。

翌23日に再び全体会。俳優 奥田瑛二氏が、幼少の頃から現在までの半生を振り返りながら、家族との絆・仕事との絆・故郷との絆について大いに語りました。時間を忘れさせ、聴衆をひきつける魅力はさすがでした。

「愛知の元気のもととは人である。人の育成が活力の源泉。」とは、開会式での愛知県知事の言葉です。「元気な島原」「元気な島高」でありたい、あらためてそう感じさせられた全国大会でした。



会長、校長